

令和元年度第2回学校運営協議会報告（豊似小）

1 地域・家庭の方策

このほど開かれた豊似小学校運営協議会で、「**登校・下校時に、子どもたちへ積極的に声掛けを行ってもらおう**」ことで、子どもたちが地域の人とかかわり、安心して通学できる環境をつくっていくことにしました。

これは本年度の重点教育目標を踏まえたもので、過去2回の熟議を経て、現状の中で実現可能な「地域・家庭の方策」として決定されたものです。

具体的には、町内会を通して子どもたちへの声掛けをお願いすることにしています。協議の中では「自分の子どもには通学途中の家の人に会ったら、挨拶するように言っている」という話があり、子どもと地域との良い関係が一層深まることが期待されます。

この他の取組として、「放課後の子どもの居場所づくり」と「学校農園を活用した地域住民と触れ合う体験活動」についても、今後、現在の教育資源の中で無理のない範囲で実現できるよう引き続き検討していくことになりました。

2 豊似小の子どもたちの実態（資料1、2）

全国学力学習状況調査の中から重点教育目標や自己肯定感及び学力にかかわる結果について情報提供があり、学校の受け止め方について説明がありました。

- ① 自己肯定感、教師からの認証意識は全国並だが、一部児童への配慮の必要性を感じる。
- ② 全児童が人の役に立つ人間になりたいと思っている。意識と努力の意識を縮めることが大事。
- ③ いじめは、どんな理由があっても許されないとの強い意識を持っている。
- ④ 教師への信頼感が高く、ほぼ全員が成功体験を有している。他への働きかけも行える。
- ⑤ 役に立つ人間になりたいとの意識の反面、地域や社会に対し何をすべきかを考えていない。
- ⑥ 学級において、話し合い活動における考えの深まりや広がりを感じないものの、よりよくするために互いの意見の良さを生かし合って解決方法を決めていると全員が感じている。
- ⑦ 国語や算数の勉強が好きな児童は多くないが、全員が大切だと感じている。

3 熟議「豊似小の子どもたちの強み・弱み」（資料3）

学校、教育委員会からの情報提供の後、豊似小学校の児童の実態について率直な意見交換を行いました。

4 学校関係者評価の進め方について（資料4、資料5、資料6）

次回の学校運営協議会で学校の運営状況を評価することになっています。

学校運営協議会としては、年度当初に承認した教育課程、学校経営計画に基づいて学校関係者評価を実施することになります。

このことを踏まえ、学校からは1学期の具体的取組（実践）内容の進捗状況や評価に必要な情報を得るための方法や手段について情報提供がありました。

会議次第

1. 開会挨拶 会長
2. 議事「地域・家庭の方策」
3. 説明「豊似小の子どもたちの実態」
4. 熟議「豊似小の生徒の強み・弱み」
5. その他「学校運営協議会が行う学校関係者評価について」

平成 31 年 4 月 18 日 6 年生 (4 名) 実施

質問に対する選択肢 1⇒「当てはまる」 2⇒「どちらかといえば、当てはまる」

3⇒「どちらかといえば、当てはまらない」 4「当てはまらない」

◇広尾っ子応援団にかかわって

(数字は%)

質 問		1	2	3	4
自分にはよいところがある	豊似小	25.0	50.0	25.0	0.0
	北海道	35.6	43.3	14.9	6.1
	全 国	38.8	42.4	13.4	5.3
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	豊似小	75.0	0.0	25.0	0.0
	北海道	41.4	43.0	11.8	3.7
	全 国	43.1	43.0	10.7	3.0
将来の夢や希望を持っていますか	豊似小	75.0	0.0	0.0	25.0
	北海道	64.2	17.8	10.0	7.9
	全 国	65.9	17.9	9.3	6.9
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	豊似小	100.0	0.0	0.0	0.0
	北海道	73.8	20.9	3.7	1.4
	全 国	74.7	20.5	3.4	1.3

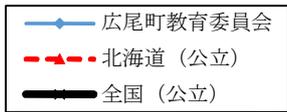
◇重点目標に関連が深いもの

質 問		1	2	3	4
先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	豊似小	100.0	0.0	0.0	0.0
	北海道	60.5	30.4	7.0	2.0
	全 国	59.5	32.2	6.5	1.7
学級みんなで話し合っって決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	豊似小	50.0	50.0	0.0	0.0
	北海道	44.5	38.8	13	3.7
	全 国	45.8	38.3	12.4	3.4
人が困っているときは、進んで助けていますか	豊似小	25.0	75.0	0.0	0.0
	北海道	38.1	48.2	11.8	1.9
	全 国	40.4	47.5	10.5	1.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	豊似小	100.0	0.0	0.0	0.0
	北海道	87.2	9.9	2	0.9
	全 国	85	12.1	2	0.8
今住んでいる地域の行事に参加していますか	豊似小	50.0	25.0	0.0	25.0
	北海道	30.6	31.6	20.8	17
	全 国	37.2	30.8	18.6	13.4

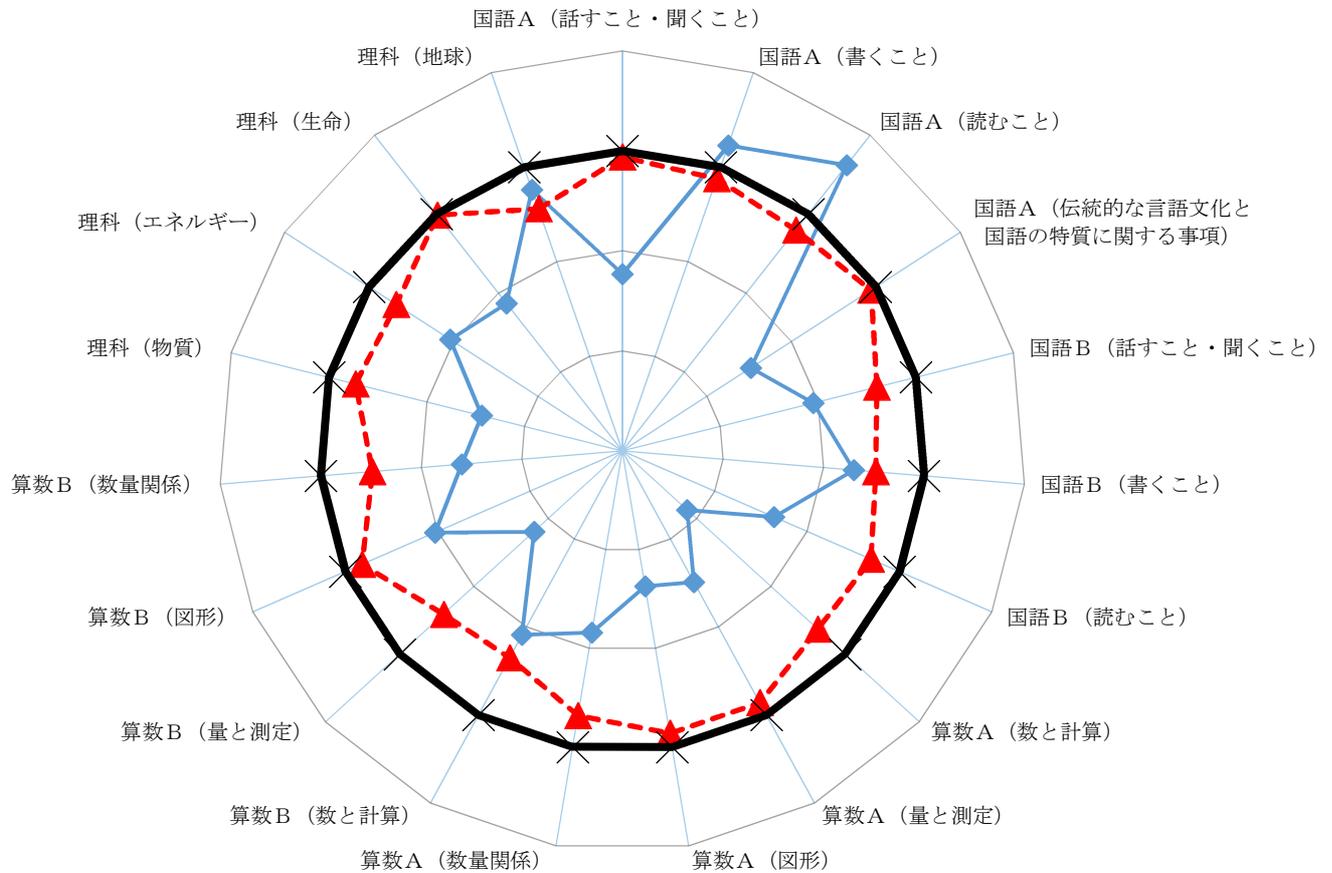
質 問		1	2	3	4
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	豊似小	0.0	0.0	75.0	25.0
	北海道	16.7	32.9	34.1	16.3
	全 国	18.9	35.6	32.3	13.1
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	豊似小	25.0	25.0	50.0	0.0
	北海道	28.6	43.7	21.8	5.9
	全 国	30.3	43.8	20.5	5.4
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	豊似小	50.0	50.0	0.0	0.0
	北海道	29.4	42.6	21.6	6.3
	全 国	30.1	43.9	20.3	5.6
国語の勉強は大切だと思いますか	豊似小	75.0	25.0	0.0	0.0
	北海道	69.4	23.7	5.1	1.7
	全 国	68.6	24.4	5.1	1.9
算数の勉強は大切だと思いますか	豊似小	0.0	100.0	0.0	0.0
	北海道	75.1	18.1	4.8	1.9
	全 国	75.6	18.1	4.3	1.9

◇結果を受けて

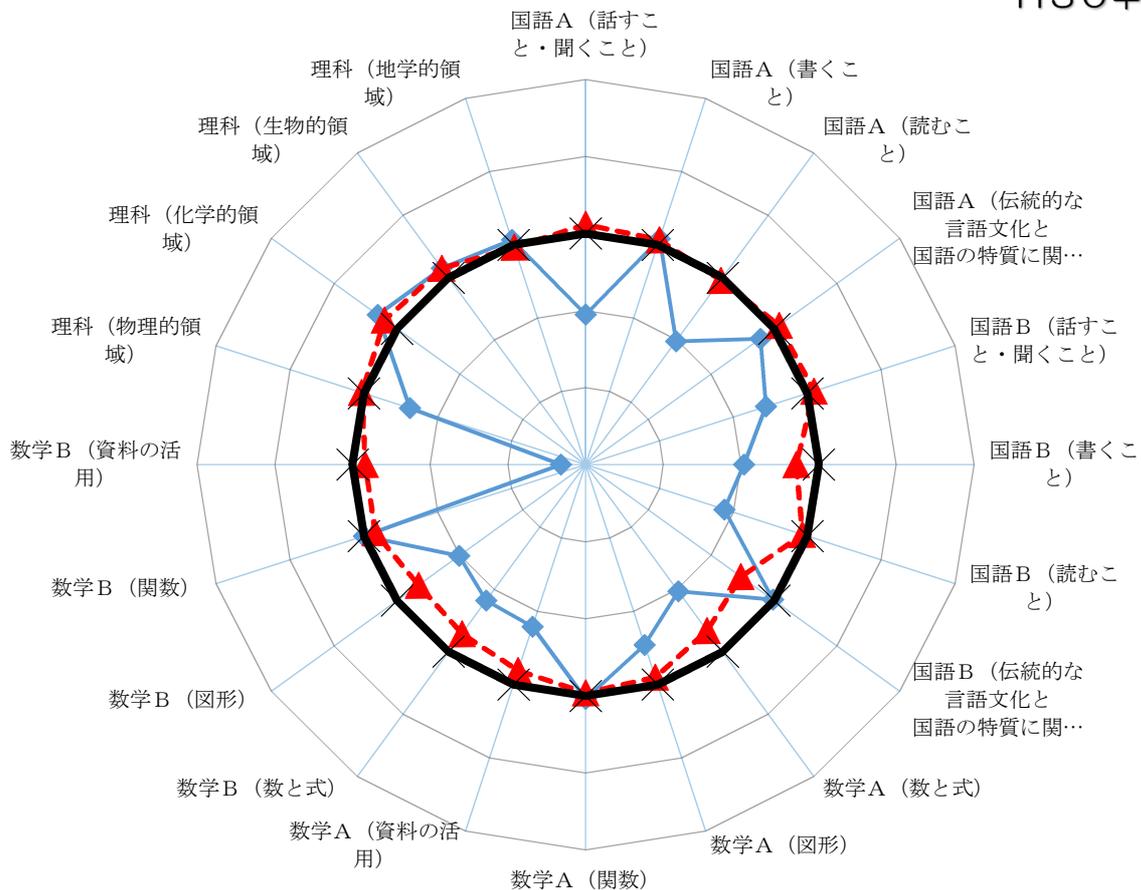
- 自己肯定感、教師からの認証意識は全国並だが、一部児童への配慮の必要性を感じる。
- 全児童が人の役に立つ人間になりたいと思っている。意識と努力の意識を縮めることが大事。
- いじめは、どんな理由があっても許されないとの強い意識を持っている。
- 教師への信頼感が高く、ほぼ全員が成功体験を有している。他への働きかけも行える。
- 役に立つ人間になりたいとの意識の反面、地域や社会に対し何をすべきかを考えていない。
- 学級において、話し合い活動における考えの深まりや広がりを感じないものの、よりよくするために互いの意見の良さを生かし合って解決方法を決めていると全員が感じている。
- 国語や算数の勉強が好きな児童は多くないが、全員が大切だと感じている。



H30小学校

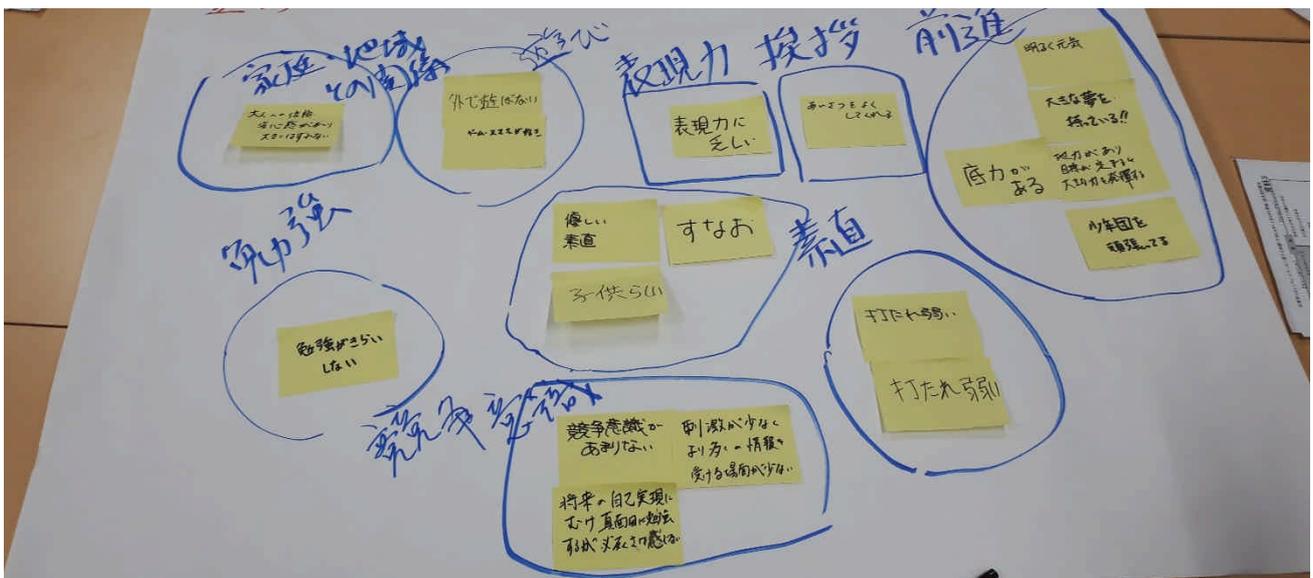


H30中学校



熟議「豊似子どもたちの強み・弱み」

テーマ	視点	意見
強み	前進	★明るく元気★大きな夢をもっている★底力がある★地力があり目標が定まると大きな力を発揮する★少年団を頑張っている
	挨拶	★挨拶をよくしてくれる
	素直	★易しい・素直★素直★子どもらしい
	家庭・地域との関係	★大人への信頼、安心感があり大きく崩れない
弱み	表現力	★表現力に乏しい
	遊び	★外で遊ばない
	打たれ弱い	★打たれ弱い（同意見他1名）
	勉強	★勉強が嫌い、しない
	競争意識	★競争意識があまりない★刺激が少なくより多くの情報を受け取る場面が少ない★将来の自己実現に向けまじめに勉強するが必死さは感じない



学校からの情報やここで交流した「子どもたちの実態（強み・弱み）」をもとに、次回は「育成したい資質能力」を話し合います。意見の整理（写真上）熟議の様子（写真下）

学校関係者評価の進め方

(1) 定義・基本的な考え方

① 学校関係者評価とは

1. 保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価
2. 法令により実施に努めることが義務付け

※自己評価…各学校の教職員が行う評価

② 学校関係者評価の目的・配慮事項

1. 「自己評価の客観性・透明性を高めること」「学校・家庭・地域が共通理解をもち、その連携協力により学校運営の改善に当たること」が期待されており、学校・家庭・地域を結ぶコミュニケーションツールとしての活用を図ることが重要
2. 外部アンケート等の実施で学校関係者評価に代えることは適当ではない。アンケートへの回答や自己評価結果についての単なる意見聴取などの受動的な評価ではなく、評価者の主体的・能動的な評価活動が重要

③ 学校運営協議会としての学校関係者評価の進め方

1. 次の4つの観点について評価する
 - (ア) 学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
 - (イ) 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか
 - (ウ) 自己評価の結果の内容が適切かどうか
 - (エ) 自己評価を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
2. 次の手続きで評価する
 - (ア) 年間を通して学校の教育活動について、学校運営協議会で承認した重点教育目標、教育課程、学校経営計画を観点に把握するよう努める。(委員)・・・次頁参照
 - (イ) 学校は、委員の要望に応じて委員が教育活動を参観したり、教職員の説明を聞いたりできるようにするなど、積極的に協力する。(学校)
 - (ウ) 第3回学校運営協議会で学校から示された自己評価について上記4つの観点で評価し、意見を述べる。(委員)
 - (エ) 評価や意見をまとめ、学校運営協議会における学校関係者評価として学校に提出する。(会長)

※学校評価ガイドライン（平成28年度改訂）に基づき作成

1 令和元年度の教育重点目標

心豊かでたくましく、主体的に考え、積極的に行動できる子どもを育てる

《育成を目指す資質・能力》

- 1 自他共に尊重し、夢や目標の実現に向けて努力できる姿勢
- 2 興味・関心や好奇心を大切にし、つねに学び続ける態度
- 3 自らを高める心をもって、何ごとにも挑戦していく姿勢

2 各教科等における指導の重点

(1) 次の「知識及び技能」を身に付ける	感想・メモ
①広尾町の産業の見学や体験を通して、身近な職業の知識を身に付ける。(生活科、社会、理科、総合)	
②専門的な知識や技能を持った方々からの講話や指導等を通して、実社会における知識や技能を理解する。(生活科、社会、理科、総合)	
③広尾や十勝、北海道の芸能やスポーツ等を体験し、その技能を身に付ける。(生活科、体育、総合)	
(2) 次の「思考力、判断力、表現力等」を身に付ける	感想・メモ
①目的や場面に応じて、相手に分かりやすい発表の内容や仕方を考える力(国語、生活科、社会、理科、外国語、総合)	
②目的や場面に応じて、発表に必要な情報を収集し、整理してまとめる力(国語、生活科、社会、理科、外国語、総合)	
③目的や場面、会場や人数などを考え、相手によりよく伝えることができる力(国語、生活科、社会、理科、音楽、外国語、総合)	
(3) 次のような「意欲や態度、人間性」を醸成する	感想・メモ
①自分の考えや意見を大切にするとともに、相手の考えや気持ちを考えられる態度(全教育活動)	
②よりよいものや状態を求めて、お互いに協力しながら最後まで取り組む姿勢(全教育活動)	
③様々な人の支えなどがあることに感謝し、自らも貢献しようという態度(全教育活動)	

3 具体的な取組（実践）事項

視 点	取組・実践等（担当）	感想・メモ
1 感謝の心 で、夢や目 標実現に 向けて努 力する	道徳教育全体計画の重点に思いやりと感謝を配置する（教務部）	
	「特別の教科道徳」の授業で、思いやり、感謝の心を育成する（担任、道徳推進教師）	
	係活動や当番で、仲間との助け合いながら活動する態度を養う（担任、指導部）	
	各種行事で、児童が心を一つに取り組めるよう意図的に設定する（担任、各分掌）	
2 主体的に 学び、確か な学力を 身に付け る	重点教科、教材にかかわる授業時数を確実に確保する（教務部）	
	学習規律の徹底と、分かる授業づくりの実践交流を行う（担任、教務部）	
	個に応じた指導を積極的に取り入れる（担任、研修部）	
	宿題、自学など家庭学習の内容を充実させる（担任、教務部）	
3 積極的に 挑戦し、生 きる力を 身に付け る	運動量を十分確保した体育科授業の展開に努める（担任、指導部）	
	体育館や校庭での遊びを奨励し体力づくりに結び付ける（担任、指導部）	
	学級会、児童会活動での児童の活動の場を意図的に設定する（担任、教務部）	
	各行事をみんなで作り上げる計画、体制づくりを工夫する（担任、各分掌）	
4 地域を大 切にする 態度の育 成	地域の自然、産業、人材等を活用した教育課程の編成に努める（教務部）	
	地域の教育力を活用した学習や体験学習を推進する（担任、CS担当）	
	ボランティアと交流する中で地域の良さを理解させる（CS担当）	
	各行事を通し、地域の良さや特色に誇りを持てる取組をする（担任、各分掌）	

重点目標に向けた具体的な取組（実践）事項（豊似小）

視 点	取組・実践等			担 当
1 感謝の 心で、 夢や目 標実現 に向け て努力 する	・道徳教育全体計画の重点に思いやりと感謝を配置する			教務部
	・「特別の教科道徳」の授業で、思いやり、感謝の心を育成する			担任、道徳推進教師
	・係活動や当番で、仲間との助け合いながら活動する態度を養う			担任、指導部
	・各種行事で、児童が心を一つに取り組めるよう意図的に設定する			担任、各分掌
	【1学期の進捗状況】 ・全体計画に「思いやり」「感謝」を設定 ・日常の係活動や運動会などの行事における指導	【2学期の進捗状況】	【3学期の進捗状況】	
2 主体的 に学 び、確 かな学 力を身 に付け る	・重点教科、教材にかかわる授業時数を確実に確保する			教務部
	・学習規律の徹底と、分かる授業づくりの実践交流を行う			担任、教務部
	・個に応じた指導を積極的に取り入れる			担任、研修部
	・宿題、自学など家庭学習の内容を充実させる			担任、教務部
	【1学期の進捗状況】 ・授業改善支援事業授業参観の実施 ・全校研における道徳科の授業研の実施	【2学期の進捗状況】	【3学期の進捗状況】	
3 積極的 に挑戦 し、生 きる力 を身に 付ける	・運動量を十分確保した体育科授業の展開に努める			担任、指導部
	・体育館や校庭での遊びを奨励し体力づくりに結び付ける			担任、指導部
	・学級会、児童会活動での児童の活動の場を意図的に設定する			担任、教務部
	・各行事をみんなで作り上げる計画、体制づくりを工夫する			担任、各分掌
	【1学期の進捗状況】 ・体育授業での体力づくり ・運動会の取組における「諦めない心」「全力」「団結」の育成	【2学期の進捗状況】	【3学期の進捗状況】	
4 地域を 大切に する態 度の育 成	・地域の自然、産業、人材等を活用した教育課程の編成に努める			教務部
	・地域の教育力を活用した学習や体験学習を推進する。			担任、CS 担当
	・ボランティアと交流する中で地域の良さを理解させる			CS 担当
	・各行事を通し、地域の良さや特色に誇りを持てる取組をする			担任、各分掌
	【1学期の進捗状況】 ・豊似地区交通安全キャンペーンの取組・実施 ・交通安全教室の実施 (協力：安協、警察、住民課)	【2学期の進捗状況】	【3学期の進捗状況】	